

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和4年度事業)

令和5年7月

大仙市教育委員会

## 目 次

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検評価の実施方法	1
3	教育委員会の活動に関する事務	2
	(1) 教育委員会の会議の開催状況	2
	(2) 教育長・委員の活動状況	4
	(3) 教育長・委員の研修状況	4
4	総合教育会議の開催状況	5
5	点検・評価の対象事業	6

No.	分 野	事務・事業名	担当課等	ページ
1	学校教育	奨学資金貸付事業	教育総務課	6
2	学校教育	大仙グローバルジュニア育成事業	教育指導課	8
3	学校教育	部活動指導員配置事業	教育指導課	10
4	学校教育	校舎等維持補修及び施設整備事業	施設管理課	12
5	生涯学習	大仙アカデミー開催事業	生涯学習課	14
6	生涯学習	花館のサケまつり	花館公民館	16
7	生涯学習	かみおか地域文化祭	神岡中央公民館	18
8	生涯学習	いきいきカレッジ	大綱交流館	20
9	芸術文化	優秀映画鑑賞推進事業	中仙公民館	22
10	生涯学習	ふるさと探訪ツアー	協和公民館	24
11	芸術文化	第8回南外小唄まつり（南外小唄コンクール）	南外公民館	26
12	芸術文化	史跡の里の秋まつり	仙北公民館	28
13	生涯学習	山登り教室	太田公民館	30
14	生涯学習	「だいせん読書の日」事業	総合図書館	32
15	芸術文化	大仙市音楽祭2022	総合市民会館	34

6	学識経験者の総評	36
---	----------	----

## 1 点検・評価の趣旨

大仙市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会が行う教育事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとしました。

## 2 点検・評価の実施方法

### (1) 点検・評価の対象とする事務

点検・評価の対象とする事務は、令和4年度の教育委員会の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいでんビジョン、大仙市生涯学習推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、15事業を選定し、点検・評価を行いました。

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価は、事務事業の点検・評価表により、担当課による自己評価を実施するとともに、有識者からの外部評価をいただきました。

### (3) 外部評価していただいた有識者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、社会福祉法人大空大仙事務局長 逸見博幸氏、学識経験者 菅原 潔 氏の2氏から評価していただきました。

### (4) 外部評価後の検証・実施

外部評価を踏まえ、事務事業を再検証し、できる限り今後の施策に反映していきます。

---

## 【参考】

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 3 教育委員会の活動に関する事務

#### (1) 教育委員会の会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。令和4年度は、定例会のほか臨時会を2回開催し、合計14回開催しました。

開催期日 及び場所	議 案
定 R4.4.27 大曲庁舎	議案第19号 奨学資金運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第20号 公民館運営協力委員の委嘱に関する臨時代理について 議案第21号 大仙市立図書館協議会委員の任命に関する臨時代理について 議案第22号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第1号)案に関する臨時代理について
定 R4.5.20 大曲庁舎	議案第23号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第2号)案に関する臨時代理について
定 R4.6.29 大曲庁舎	議案第24号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第3号)案に関する臨時代理について 議案第25号 教育支援専門検査員の委嘱に関する臨時代理について 議案第26号 大仙市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について 議案第27号 学校給食センター運営委員会委員の任命又は委嘱について
定 R4.7.27 大曲庁舎	議案第28号 教育に関する事務の点検・評価報告書案について 議案第29号 大仙市教育支援委員会委員の委嘱について
定 R4.8.24 大曲図書館	議案第30号 四ツ屋公民館改築事業建築工事請負契約に関する臨時代理について 議案第31号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第4号)案に関する臨時代理について 議案第32号 令和4年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)案に関する臨時代理について
定 R4.9.26 神岡農村環境改善センター	議案なし(報告案件のみ)
定 R4.10.21 大曲庁舎	議案第33号 大仙市八乙女交流センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第34号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第6号)案について
定 R4.11.21 大曲図書館	議案第35号 大仙市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する臨時代理について 議案第36号 大仙市健康文化活動拠点センター「ペアーレ大仙」の指定管理者の指定に関する臨時代理について 議案第37号 大仙市八乙女交流センターの指定管理者の指定に関する臨時代理について 議案第38号 令和4年度大仙市一般会計補正予算(第8号)案に関する臨時代理について
定 R4.12.23 大曲庁舎	議案第39号 大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

令和5年

定 R5.1.27 大曲庁舎	議案なし（報告案件のみ）
定 R5.2.20 大曲庁舎	議案第1号 大仙市学校施設再編整備基金条例案に関する臨時代理について 議案第2号 大仙市公民館条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について 議案第3号 令和4年度大仙市一般会計補正予算（第10号）案に関する臨時代理について 議案第4号 令和4年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第1号）に関する臨時代理について 議案第5号 令和5年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について 議案第6号 令和5年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について 議案第7号 令和5年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について
臨 R5.2.27 大曲図書館	議案第8号 県費負担教職員の人事の内申について
臨 R5.3.15 大曲図書館	議案第9号 大仙市教育委員会職員の処分について
定 R5.3.29 大曲庁舎	議案第10号 大仙市会計年度任用職員（学校用務員）就業規則の一部を改正する規則の制定について 議案第11号 大仙市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第12号 大仙市部活動地域移行支援コーディネーター設置規則の制定について 議案第13号 大仙市部活動地域移行推進本部設置要綱の制定について 議案第14号 大仙市刈和野地区コミュニティセンター管理運営規則を廃止する規則の制定について 議案第15号 教育アドバイザーの任命について 議案第16号 教育アドバイザーの任命について 議案第17号 大仙市市民会館等運営連絡協議会委員の委嘱について 議案第18号 大仙市市民会館等運営連絡協議会専門委員会委員の委嘱について

※ 議案番号は暦年による一連番号

※ 9月定例会は移動教育委員会として開催

(2) 教育長・委員の活動状況

【入学式】

日 程 令和4年4月6日～8日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【学校訪問】

日 程 令和4年6月21日～12月21日 全30日程  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
訪問者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長、指導主事

【公民館訪問】

日 程 令和4年6月16日、17日  
場 所 市内8公民館  
訪問者 教育長、事務局長、課・館長、地域学校協働活動推進員

【卒業式】

日 程 令和5年3月11日～16日  
場 所 小学校20校、中学校10校 全30校  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

(3) 教育長・委員の研修状況

【第73回東北都市教育長協議会定期総会】

時 期 令和4年4月20日  
場 所 大館市  
出席者 教育長

【第72回全国都市教育長協議会定期総会】

時 期 令和4年5月12日、13日  
場 所 山口県  
出席者 教育長

【令和4年度第1回県南地区教育長会議】

時 期 令和4年5月25日  
場 所 横手市役所条里南庁舎 会議室  
出席者 教育長、事務局長

【令和4年度大仙市教育委員会委員研修視察】

日にち 令和4年9月26日  
場 所 かみおか嶽雄館  
出席者 教育長、教育委員、事務局長、課・所・館長

【全県教育長会議】

時 期 令和4年10月13日  
場 所 秋田県庁 第二庁舎  
出席者 教育長

【令和4年度第2回県南地区教育長会議】

時 期 令和4年11月7日  
場 所 横手市役所条里南庁舎 会議室  
出席者 教育長、事務局長

【秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県都市教育長協議会】

時 期 令和4年11月8日  
場 所 秋田市役所  
出席者 教育長、教育委員、教育指導課長

【第19回B&G全国教育長会議】

時 期 令和4年11月9日  
場 所 東京都  
出席者 教育長

【第15回B&G全国サミット】

時 期 令和5年1月24日  
場 所 東京都  
出席者 教育長

【秋田県都市教育長協議会】

時 期 令和5年2月1日  
場 所 あきた芸術劇場ミルハス  
出席者 教育長、教育指導課長

#### 4 総合教育会議の開催状況

総合教育会議とは、平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、市長と教育委員会を構成員として設置されるもので、市長と教育委員会が教育の課題やあるべき姿を共有し、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。

令和5年2月3日、大仙市役所大曲庁舎において令和4年度第1回大仙市総合教育会議を開催しました。この会議では、大仙市総合教育会議傍聴人要綱の一部を改正する要綱の制定について、また、部活動の地域移行に関する取組の現状と課題について協議を行っています。

【令和4年度第1回大仙市総合教育会議】

日 時 令和5年2月3日（金） 午後3時30分  
場 所 大仙市役所大曲庁舎 3階 大会議室  
協議事項 (1) 大仙市総合教育会議傍聴人要綱の一部を改正する要綱の制定について  
(2) 部活動の地域移行に関する取組の現状と課題について





<p>外部評価</p> <p>有識者の 意見・評価</p>	<p>●利用者数は年度によりバラツキはあるが、教育に対する経済的な支援や人材育成の観点からこの事業は継続すべき事業と思う。しかしながら償還金の滞納額も14,800千円となっていることから、償還方法の工夫、定期的な納付相談など引き続き滞納整理に努めていただきたい。また、卒業後地元就職するなど一定の条件を満たす方への奨学金返還助成制度はあるが、卒業者の地元定着を促進する意味では返還免除制度についても検討してみたらどうか。</p> <p>◆この事業については、向学意欲あっても家庭の状況から断念せざるを得ない等への対応も含め、教育機会の平等という観点からとても有益であり、今後も長く続くことを希望します。とくにここ数年はコロナ禍であったこともあり、その意義は大きかったと思われまます。自己評価の中で、「制度利用者は、ほぼ卒業・就職できている」とあることから、利用者の怠学はほとんどなかったことと考えられ、好ましい状況です。今後は、その実施の方法について再考してはどうでしょうか。具体的には、貸付の額等を多様なものにしてほしいと思います。例えば、国公立と私立の違い、自宅生と親元を離れての違い等、負担の大きさに応じた額であることが適当だと思います。事務的な煩雑さは増しますが、ぜひ検討してほしいと思います。課題として収納率についてあげられています。コロナ禍の最中には、奨学金自己破産や奨学金地獄という文言がメディアから聞こえたことがありました。悪質な場合は法的な手段等を踏まえつつも、未来ある若者の実情には十分に配慮をお願いしたいと思います。</p>
-----------------------------------	---

## 事務事業の点検・評価表

	番号	2	分野	学校教育	担当課	教育指導課																																				
<b>事業名</b>	大仙グローバルジュニア育成事業																																									
<b>事業の目的</b>	国際化の進展に伴い重要視される国際理解教育及び外国語教育の充実のため、外国語指導助手（ALT）・国際交流員（CIR）等を配置し、児童・生徒の国際感覚、コミュニケーション能力の向上を図る。また、グローバル人材の育成や令和2年度からの小学校学習指導要領の全面実施をふまえ、市内の小・中学生を対象とした大仙イングリッシュ・デーの開催や、web会議システム等を活用した海外の方とのオンライン交流等、児童生徒の体験活動の充実を図る。																																									
<b>事業の実施状況</b>	事業費					53,661千円																																				
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①外国語指導助手等招致事業 ALT・CIRを配置し、中学校外国語の学習指導及び小学校等における外国語活動等を実施。例年、新規ALTの受け入れは8月に行っていたが、新型コロナウイルスの影響で来日できない時期があったため、令和4年度は4月にも2名、受け入れを行った。年度末時点での配置人数は12人（CIR1名、ALT11名）となっている。ALTは輪番制で「ALTから見た大仙市」記事をホームページ上で更新しており、児童生徒のみならず市民にも、その活動を還元できる活動を行った。</p> <p>②グローバルジュニアマイスター育成事業 児童生徒が、海外や県外の方々と英語等を使ったコミュニケーションや情報交換、観光案内などの目的をもった交流活動を実施した場合に、内容に応じてポイントを付与し、グローバルジュニアマイスターに認定した。</p> <p>③大仙イングリッシュデー 大仙市内の小学生92名、中学生8人が参加し、ALT・CIRとともに英語による活動及び交流を実施した。希望児童生徒が応募枠を大きく超えたため、日程を変更し希望者全員を受け入れた。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">【ALT・CIR配置人数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3 <small>(年度末)</small></th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALT</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>CIR</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【グローバルジュニアマイスター認定者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロンズ</td> <td>109</td> <td>62</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>シルバー</td> <td>58</td> <td>34</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>ゴールド</td> <td>35</td> <td>26</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>マイスター</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>							R2	R3 <small>(年度末)</small>	R4	ALT	9	11	11	CIR	1	1	1	計	10	12	12		R2	R3	R4	ブロンズ	109	62	209	シルバー	58	34	42	ゴールド	35	26	22	マイスター	14	15	12
	R2	R3 <small>(年度末)</small>	R4																																							
ALT	9	11	11																																							
CIR	1	1	1																																							
計	10	12	12																																							
	R2	R3	R4																																							
ブロンズ	109	62	209																																							
シルバー	58	34	42																																							
ゴールド	35	26	22																																							
マイスター	14	15	12																																							
<b>課題等</b>	<p>ALT・CIRの配置や授業時数を考慮しながら、児童生徒がより活きた英語に触れる機会をより多く保障することで、外国語学習を通じてコミュニケーション能力の素地や基礎が一層養われていくようにしていかなければならない。また、グローバルジュニアマイスター育成事業においては、今後、感染対策に配慮しながら、これまで以上に積極的にポイントを与え、自己有用感を醸成することも児童生徒のために必要である。</p> <p>これらの課題を踏まえ、効率的・効果的なALT・CIR派遣の在り方の模索やオンラインシステム等の有効な活用、月1回行われる市教育委員会主催のALT研修の充実など、ALT・CIRの意見を取り入れながら、工夫・改善をしていく必要がある。</p>																																									

<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・新型コロナウイルスの影響はあったにもかかわらず、ALTの必要数配置により子どもたちの生きた英語に触れる機会の確保が出来ていると思う。      ・市のホームページにALTの活動を紹介する「ALTから見た大仙市」が掲載されているが、英文のみの記載なので日本語の対訳も掲載すれば大仙市の外国語学習活動についてより市民の理解を深めることが出来ると思う。      ・グローバルジュニアマイスター育成事業については、子ども達が在学中のみならず、卒業後も継続して活躍できるような場や社会参加への機会の確保が真のグローバル人材の育成につながると思うので、生涯学習課ほか関連する部門との連携が望まれる。</p> <p>◆市民性（シチズンシップ）の醸成と並行して、国際感覚はこれからを担う児童生徒にとって大切な力であり、本市がその育成に積極的にかかわってくださり、児童生徒が積極的に外国人にかかわったり、外国語とくに英語にふれたりする機会をつくってくださっていることに感謝します。私たち日本人にとって、外国人との積極的なコミュニケーションを妨げているのが英語力です。そしてその力のなさからくる自信のなさが消極さにつながっています。しかし、本事業の効果もあり、本市の子どもたちは、外国人に対して身振り手振りを交えながら片言の英語で話しかけている姿が見られます。年少時からのこうした体験を継続していくことは、とても意義深いことだと思います。事業の効果や意義深さをより明確にさせ、さらに発展させるためにも、②グローバルジュニアマイスター育成事業と③大仙イングリッシュデーにより、本市の子どもたちにどのような教育的効果があったのか、コミュニケーション能力に変化はあったのか等、長い目で注視しながら評価を実施していただくことを検討してはどうでしょうか。</p>
--------------------------------	--

## 事務事業の点検・評価表

	番号	3	分野	学校教育	担当課	教育指導課
<b>事業名</b>	部活動指導員配置事業					
<b>事業の目的</b>	学校の働き方改革の支援で、教員の部活動に係る勤務時間の軽減を図る。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	475千円				
	<p>1 部活動指導員（会計年度任用職員）の配置 協和中学校（柔道部）1名、中仙中学校（男子バスケットボール部）1名を配置。</p> <p>①成果目標：担当教員の時間外勤務の削減を図る。</p> <p>②成果指標：担当教員の時間外勤務を年間210時間以上削減する。</p> <p>③成果実績：担当教員の業務時間が、協和中学校で209時間、中仙中学校で154時間減少した。 達成率 <math>(209時間 + 154時間) \times 100 \div 420時間 = 86.4\%</math></p> <p>&lt;参考&gt; R5は4人配置 ※協和中学校（柔道部、ソフトテニス部）、中仙中学校（男子バスケットボール部）、他1校（未定）</p>					
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった                 </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった                 </div> </div> <p>専門的な知識や技術等を持たず部活動担当となる教員の精神的な負担や、指導、大会等の引率が必要でなくなり、部活動に係る時間が大きく削減された。目標をほぼ達成し、業務改善になった。</p>					
<b>課題等</b>	業務改善と地域移行の面で大変有意義な事業であり、今後、希望する学校、部活動が増えることが予想されるため、予算及び人材の確保が課題となる。国や県又は中体連等の部活動の在り方について、注視していく必要がある。					

外部評価

有識者の  
意見・評価

●・事業実施により担当職員の時間外勤務時間軽減の目標はほぼ達成されていることは評価できるが、教員の業務改善や働き方改革の推進という大きな目標を達成するためのひとつの事業として位置付けられるものと思うので、学校、教師の業務の適正化や長時間労働改善にも結びつけることが出来るよう、今後も実施効果を検証しながら取り組んでいただきたい。

・時間を要するとは思いますが、学校部活動が教育活動の一環であることの意義を見失うことなく地域に移行できるよう、市としての部活動の地域移行の方向性をしっかりと定め、学校、地域が共通の認識を持ち事業を進めていただきたい。

◆中学校教員の働き方改革の一つとして、部活動の地域移行を文科省が主導し、本市も教育委員会事務局の指導の下で進められていることに深く感謝します。現役中学生はもちろんのこと、その保護者の方々にも大きな安心を与えているものと思います。今後も増えていくことを希望するとともに、学校任せになることなく、地域学校協働活動や学校運営協議会等を生かしながら、よりよい人選を進めてほしいと思います。

本事業により働き方改革すべてが解決するということではないことも確認しておきたいことでもあります。また、少子化や学校統廃合はもちろんのこと、スポーツや文化活動の地域移行、クラブ化等、コミュニティの在り方と大きくかかわってくることも、部活動を取り巻く状況です。学校もこれまでの活動を踏襲することに終始することなく、状況に応じて変化していく必要があります。校長のリーダーシップの下、実質的な働き方改革に向けた学校改革を期待します。

## 事務事業の点検・評価表

	番号	4	分野	学校教育	担当課	施設管理課																																			
<b>事業名</b>	校舎等維持補修及び施設整備事業																																								
<b>事業の目的</b>	この事業は、学校施設の整備を図り、快適で安全安心な教育環境を提供することを目的とする。																																								
<b>事業の実施状況</b>	事業費	314,036千円																																							
	<p>【主な改修工事】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 75%;">神岡小学校トイレ改修工事</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">62,150千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>高梨小学校油配管改修工事</td> <td style="text-align: right;">17,534千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>横堀小学校高圧受電設備改修工事</td> <td style="text-align: right;">17,490千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大曲小学校校舎屋上防水（第2期）改修工事</td> <td style="text-align: right;">28,267千円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>藤木小学校プール側面塗装改修工事</td> <td style="text-align: right;">2,083千円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>太田東小学校特別教室棟屋根軒先復旧工事</td> <td style="text-align: right;">2,475千円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>太田東小学校飲用井戸さく井工事</td> <td style="text-align: right;">4,070千円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>大曲中学校トイレ改修工事</td> <td style="text-align: right;">67,100千円</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>平和中学校トイレ改修工事</td> <td style="text-align: right;">43,450千円</td> </tr> </table> <p>【校舎等維持補修及び施設整備費の推移】 <span style="float: right;">単位：千円</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>658,961</td> <td>572,722</td> <td>454,945</td> </tr> </tbody> </table>						1	神岡小学校トイレ改修工事	62,150千円	2	高梨小学校油配管改修工事	17,534千円	3	横堀小学校高圧受電設備改修工事	17,490千円	4	大曲小学校校舎屋上防水（第2期）改修工事	28,267千円	5	藤木小学校プール側面塗装改修工事	2,083千円	6	太田東小学校特別教室棟屋根軒先復旧工事	2,475千円	7	太田東小学校飲用井戸さく井工事	4,070千円	8	大曲中学校トイレ改修工事	67,100千円	9	平和中学校トイレ改修工事	43,450千円		令和元年度	令和2年度	令和3年度	決算額	658,961	572,722	454,945
1	神岡小学校トイレ改修工事	62,150千円																																							
2	高梨小学校油配管改修工事	17,534千円																																							
3	横堀小学校高圧受電設備改修工事	17,490千円																																							
4	大曲小学校校舎屋上防水（第2期）改修工事	28,267千円																																							
5	藤木小学校プール側面塗装改修工事	2,083千円																																							
6	太田東小学校特別教室棟屋根軒先復旧工事	2,475千円																																							
7	太田東小学校飲用井戸さく井工事	4,070千円																																							
8	大曲中学校トイレ改修工事	67,100千円																																							
9	平和中学校トイレ改修工事	43,450千円																																							
	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																						
決算額	658,961	572,722	454,945																																						
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった         </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった         </div> </div> <p>各学校施設において各種改修工事を実施し、快適で安全安心な教育環境を提供することができた。今後も、国の交付金事業等の活用を図りながら、計画的に実施していく。</p>																																								
<b>課題等</b>	<p>建築後30年以上経過している校舎・屋内運動場が7割を超えており、今後においても改修に多額な経費を要することから、大仙市学校施設長寿命化計画に基づき、予防保全的な観点も含めて計画的な改修等を実施することで改修費縮減と予算の平準化を図る必要がある。</p>																																								

外部評価  
有識者の  
意見・評価

●・令和3年度の空調設備の整備に続いての多額の経費を要する大規模な整備事業だが、快適で安全安心な教育環境を提供するための事業として高く評価できる。  
・児童生徒の減少による将来的な統合や、校舎の縮小など様々解決すべき課題があるが引き続き長寿命化計画に基づき計画的な改修等を実施していただきたい。また、児童・生徒はもちろん職員の労働環境改善のための整備についても必要に応じて対応していただきたい。

◆児童生徒が安全安心の下、快適に学校生活を送ることができるよう、きめ細かな施設整備を進めてくださっていることに感謝します。とくにここ4～5年はトイレ改修、エアコン設置と児童生徒に直接的にかかわる整備を確実に実施してくださいました。築50年前後の校舎もあり、校舎の維持については終わりがいいことも予想できますが、今後も各校と継続的にヒアリングを重ねながら、よりよい形で進めてほしいと思います。また、少子化が一層の加速の下、小規模校がどんどん増えていくこととなります。しかし、少子化率に対して補修・整備にかかる予算は大きくは減っていきません。将来の見通しをもちながら、効果的な予算配分を考えてほしいと思います。

余談になりますが、学校の荒れはトイレから始まると言われています。また、きれいなトイレの学校は荒れが少ないとも聞きます。本市のトイレ改修は、児童生徒の健全な育みにもつながっていると思います。





外部評価  
有識者の  
意見・評価

●・単なる講演会ではなく、「地域づくりへの積極的な参画のきっかけづくりの場となる」こととして実施された新規の事業であり、これからどのように地域づくりに繋がっていくのか今後の展開が楽しい事業である。  
・「多くの人に参加してくれた」という評価で終わることなく、参加した人がワークショップ等で地域を考えたり、次のアクションに繋げるなど若い人の参画機会に結び付ける方策も模索しながら、地域の人材（人財）育成の事業として継続してほしい。

◆2年後、大仙市が誕生して20周年をむかえます。まだまだ、旧市町村の枠組みは意識的にも実際的にも残っていますが、大仙という市名を大上段にして未来に希望をもてる大仙市づくりを市民も行政も進めていかねばなりません。本事業名の「大仙アカデミー」は、とても覚えやすく、これ以上のない素晴らしい名称だと思います。令和4年度からの新事業ですが、この名称の下、内容の充実とともに長く続くことを期待します。

コロナ禍であったことから、参加人数の確保にも難儀されたことと思います。また、事業の目的からも、その実施については難しさを覚えます。市民の考え方や好みは多様化し、また様々な情報を簡単に入手できる時代となり、講演会を開催しても、どれだけの市民が積極的に参加し、勉強したいと思うのでしょうか。このことについては、自己評価や課題等において類似な内容があげられています。ぜひ、実施側の意識と市民の関心・興味が乖離することなく、「楽しい大仙アカデミー」「未来に希望をもてる大仙アカデミー」になるよう十分な検討を期待しています。

## 事務事業の点検・評価表

	番号	6	分野	生涯学習	担当課	花館公民館
<b>事業名</b>	花館のサケまつり					
<b>事業の目的</b>	将来を担う子どもたちに、ふるさとの川にサケが遡上することを通して、自然環境の大切さを学ぶとともに、地域の伝統文化の継承を図ることを目的とする。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	170千円				
<b>自己評価</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した  <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった                 </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した  <input type="checkbox"/> 達成できなかった                 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サケを通して、地域の自然環境や身近な川で繰り返されている生命の営みに関心を高める機会となっている。3年ぶりに実施した試食会では、食から地域の元気を取り戻すことを願い、伝統料理のサケ汁やいくら丼を提供し、高評価をいただいている。</li> <li>・子どもの体験学習が少なくなっているなかで、新たな取組みを加えながら、今後も継続したいと考えている。</li> </ul>					
<b>課題等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域においても、高齢化が進んでおり、地域活性化のためには人材の育成が重要なため、若い世代が地域活動に参加する機会として、PTAと連携した活動を検討する。</li> <li>・小学校と連携した活動のほか、中学校、保育園が参加する取組みを検討し、学校を核とした地域づくりの充実を図る必要がある。</li> </ul>					

外部評価

有識者の  
意見・評価

●・サケの増殖漁業を地域の伝統文化ととらえその継承事業という視点から、小学校と連携したふるさと学習の一環として体験学習を中心とした事業を展開していることは、生涯学習計画が目指す方向性と一致しており高く評価できるものです。  
・中学校や大曲農業高校とコラボして、例えば子どもたちの自由な発想をサケの加工物の商品化に結び付けるなど、アイデア次第では花館地域を超えて広がる可能性のある事業だと思う。

◆花館地区の地場産業、伝統活動であったものが漁協や行政の支援の下で、他地区、他地域の市民も分かち合うことができ、そのよさを共有できるようになっていることに感謝します。私も現役時代に、児童を稚魚放流に参加させたり、稚魚飼育展示を受け入れたりしてきました。トレーにのった魚や水族館で回遊する魚しか知らない子どもたちにとって、目の前の魚はまさに生き物であり、庭を舞う蝶と同じ感覚でとらえることができていました。とてもいい体験ができたと思っています。ぜひ学校やPTA、各公民館への働きかけを強め、連携を進めるとともに、本事業を地域づくりや学校づくりに生かしてほしいと思います。



外部評価

有識者の  
意見・評価

●・地域の芸術文化活動の発表の場として再開されたことを高く評価します。  
・付帯イベントなども工夫されており、来場者の増加にも結びついており、今後も多くの方々が文化祭に参加、来場される企画を期待します。  
・地域を元気にする事業としてこれからも続けていただきたいものですが、どの公民館もマンパワー不足をどう解消するかが課題と思われます。生涯学習奨励員などのお手伝いや住民の協力など実行委員会制での実施などいろいろと検討してみたいと思います。

◆マンパワー不足の中、通常開催を進めてくださったことに感謝します。事業の実施内容に付帯イベントとしてたくさんの体験や販売を盛り込んだことで、魅力が大きく高まったのではないのでしょうか。計画段階での努力が伝わってきます。そして来場者の大幅な増加につながっていると思います。この増加が芸文協、各種サークルの方々の活動や発表にいい影響を与えていると思います。

本事業ではすでに幼保小中と連携し、神岡地域を盛り上げる大きな機会になっていることが想像できます。秋には学習発表会や学校祭も催されることから、共同開催とは言わぬまでも、地域文化祭とともに、互いの一部分（展示や発表等）を出前し合う等をし、地域活性化にむけた取組を一考してほしいと思います。

事務事業の点検・評価表

番号	8	分野	生涯学習	担当課	大綱交流館
事業名	いきいきカレッジ				
事業の目的	誰でも気軽に参加することができ、地域の世代間交流の場を創出し、多種多様な講座を開催することで生涯における活力を見出すことに寄与することを目的とする。				
事業の実施状況	事業費	52千円			
	1. 開催期間	令和4年6月～11月（各コース毎月1回×6カ月）			
	2. 対象者	大仙市民			
	3. 講座内容	①くらしの達人コース (1)県庁出前講座「食・農体験」春の草花の寄せ植え (2)スマホ教室 (3)手芸教室 (4)県庁出前講座「食・農体験」秋の草花の寄せ植え (5)DIY教室 (6)料理教室「洋菓子」 ②スポーツコース (1)県庁出前講座「あきた元気アップ円熟塾」 (2)ヨガ教室① (3)県庁出前講座「ポッチャ体験」 (4)ニュースポーツ (5)グラウンド・ゴルフ (6)ヨガ教室② ③地域の魅力コース (1)西仙北地域の文化財・史跡探訪～バッコ杉・寶泉寺～ (2)公文書でわかる昔の大仙市西仙北地域 (3)あきた埋文オープンラボ「考古学体験Ⅰ」 (4)移動研修会～羽後町の文化財・史跡探訪～ (5)県庁出前講座「食の情報」 (6)料理教室「地域の食材を使った料理 ～大綱米を使ったライスバーガー～」			
	4. 実績数	令和2年度	申込人数	延べ人数	
		令和3年度	43人	73人	
		令和4年度	81人	250人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった				
	従来、65才以上の高齢者向けの講座を開設していた「寿楽大学」を、令和元年度から幅広い年代向けの講座を開設する「いきいきカレッジ」に改めた。 令和4年度は、誰でも気軽に参加しやすく、地域間及び世代間交流を図ることを目的とした講座や若い世代が参加しやすいように一部を土曜日に開催するなど、講座内容を一新した。 その結果、西仙北地域外の方や子ども、親子の参加者が多かったことから、全体参加者が大幅に増加した。また、県庁出前講座を活用したり、生涯学習奨励員や地域の方を講師に迎えるなど、限られた予算で講座内容を工夫をしながら実施した結果、参加者から高評価を得ることができた。				
課題等	世代間を越えて誰でも参加したいと思える新規講座、若年層、西仙北地域外の受講者が増えるような講座、大綱交流館と地域の人々を繋げる講座などを、限られた予算で、どのように開設すれば地域の目的を達成できるかが課題である。				

<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・マンネリ化する高齢者向けの事業をリメイクし、地元講師も含む様々なネットワークでの講師確保など、限られた予算の中で工夫しながら新しいスタイルで実施し継続できていると思う。</p> <p>・テーマも多様で、その結果地域外からの参加や、親子の参加などもあり、以前の事業評価で提案されていたことを実践に結びつけていることは高く評価できます。</p> <p>・申込受付方法などに課題はあるとのことだが、今後その課題を解決しながら、世代を超えて、だれでも参加したいと思える講座の企画など、発展、継続を期待する。</p> <p>◆少ない事業費の中で、とても魅力的なコース・講座を設けてくれたことで、多くの市民が参加してくれたようです。その立案、運営の根底にあるのが、「誰もが気軽に」「地域間・世代間交流」にあったと思います。少子高齢化・過疎化が加速する中、いかに市民に関心をもってもらうかを前向きに進めてくださったことに深く感謝申し上げます。</p> <p>事業の説明の際に、「同じ方がいくつも申し込みしたため、新たな申し込みを断る場面があった。延べ人数は大幅に増えているが、実人数はそれに比べて増えていない。」と、申し込みの仕方についての悩みを話されていました。ただ、単純に一人当たりの申し込み数を限定したり、人数制限を設けたりすることも少し残念な気がします。「誰もが気軽に」「地域間・世代間交流」のコンセプトを踏まえて、ぜひ知恵をしぼっていただきたいと思います。そのためにも、リピーターの獲得と口コミ、そして広報力をいっそう高めてほしいと思います。</p>
--------------------------------	--





外部評価

有識者の  
意見・評価

●・テレビやサブスクで映画が見られる時代になっている中で、35ミリフィルムでの日本映画の名作上映にこだわり事業を継続されていることは、映画文化を広く伝える特色ある事業として意義あるものと思う。  
・参加者が一部の映画愛好者に限定されているようなので、県内外の他の映画祭とのコラボやSNSの活用で周知方法を工夫すれば、もっと多くの方の参加に結び付けられるのではないだろうか。

◆黒沢作品の上映を皮切りに、まもなく20回をむかえる本事業をこれまで育ててきてくださったことに感謝します。多種多様な映像作品をオンラインでいつでもどこでも鑑賞できる時代ですが、大型スクリーンで大衆とともに鑑賞するよさもあると思われま

す。だからこそ、根強い人気があるのでしょうか。  
本事業が事業の目的にもある通り、文化活動の活性化、コミュニティ活動の充実を目指すものであるならば、過去の実施の踏襲に頼ることなく、新しい視点も取り入れた内容の検討をしてもいいのではないのでしょうか。その視点として、やはり、本事業の目的にもある2点だと考えます。文化活動の活性化から考えるならば、映画上映のみで文化活動を活性化することは可能なかを再考されてはどうでしょうか。コミュニティ活動を充実させるならば、世代間や家族間、地域間のかかわりをどう関係づけていくのかも重要です。



<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・生涯学習課の事業をベースにして、地域の魅力を再発見することができる地域版の事業として再編し実施したのは良い着眼であり、今後の展開が楽しみな事業である。</p> <p>・運営の工夫により、ふるさと博士育成事業や、グローバルジュニアマイスター認定事業との連携の可能性も感じられることから、地域や学校と協力しながら中学生や高校生のツアーガイド実現に向けて是非努力いただきたい。</p> <p>◆協和地域が、これほどに見どころ満載の地域であることを改めて実感しました。そして、たいへん興味深い内容が盛り込まれていると感じました。自己評価に、参加者アンケートの結果から、「大変好評を得ました。」とありますが、参加者の正直な感想からそのように感じ取られたのだと思いますが、私自身、素直にそうだと思います。ゼロ予算でありながら、素晴らしい事業です。ツアーの様子の写真や現地担当者から聞き取った内容等を交えながら、簡単なコメントを付け加えることで、必要かつ十分な「協和ふるさと探訪パンフレット」が出来上がりそうです。</p> <p>課題等の中に、中学生のツアーガイドについて触れていますが、ぜひ実現してほしいと思いますし、小中生の時期からそうした地域担い手づくりについても進めてほしいと思います。</p>
--------------------------------	---



<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・南外小唄は南外地域の皆さんにとっては愛着がある大事な唄だと思う。地域の人たちが中心となり始まった事業とのことなので、地域の財産である「南外小唄」の伝承普及のために、規模や運営方法の工夫をしながら事業を継続していくことは意義あることと思う。</p> <p>・故郷を愛する心を育む活動として、南外小唄に触れる機会を設けるなど、小中との連携は是非形にしてもらいたいものです。</p> <p>◆南外小唄は南外地域の誇りであり、かつては地域住民が誰でも知っている地域の歌でした。しかし、少子高齢化が進み、地域の交流が少なくなっている今、歌そのものを知らずに育っている子どもたちや新しい地域住民も増えているのではないのでしょうか。そうした現状から考えても、本事業の果たす役割は大きいと思われます。コロナ禍を経て復活した本事業が今後も継続し、地域住民の郷土愛や生きがいにつながるようであれば、これほどうれしいことはありません。ぜひ、つきの木こども園、南外小中と連携をしながら、郷土愛醸成と南外小唄継承（踊り体験も含めて）にむけて、本事業を推進してほしいと思います。</p>
--------------------------------	--



<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・仙北地域の皆さんの学習活動の発表の場として意義ある事業であり、「出来ることを出来る範囲で」という姿勢も、マンパワー不足が課題とされている中で無理なく事業を継続していくためには良い考え方だと思う。</p> <p>・今後の方向性として、周辺施設の活用が挙げられているので、人工芝グラウンド「ソラーレ」の活用やキッチンカー出店などのほか、弘田の柵跡関連事業などとのタイアップで史跡の里としてのカラーを出すことで、地域外からの来客の可能性も広がり、さらに賑わいを増す事業となるのではないだろうか。</p> <p>◆長きにわたってワクチン接種会場という重大任務を抱え、令和5年度以降の事業計画にもつながる4年度事業を無事終えられたことに敬意を表します。5年度は、通常開催ができることを切に願っています。近くにソラーレも完成竣工し、体育館、野球場と合わせて、スポーツと文化の一大拠点としての役割が期待されます。ぜひ一体的に有効活用し、やがては本市の手本となるような秋まつりが開催されることを願っています。</p>
--------------------------------	---

## 事務事業の点検・評価表

	番号	13	分野	生涯学習	担当課	太田公民館
<b>事業名</b>	山登り教室					
<b>事業の目的</b>	安全で楽しく登山するために、座学で登山の知識を、実技で技術を学び、生涯スポーツとしての登山の普及を図るとともに、心身の健康増進と生涯学習に資する。					
<b>事業の実施状況</b>	事業費	0千円				
	<p>本教室は、「登山を始めたいけど何から始めたらよいかわからない」といった初心者や、登山の基礎を身につけたい方を対象に実施。実技に入る前に座学で登山の知識習得するため、前年10月から座学、5月から実技を行っている。</p> <p>1 座学（期日、内容） 場所：太田生活改善センター            第1回（R3年10月31日）登山をはじめるまえに            第2回（R3年11月21日）登山の基礎技術            第3回（R3年12月19日）地形図の読み方①            第4回（R4年1月16日）地形図の読み方②            第5回（R4年2月20日）気象と天気図            第6回（R4年3月13日）安全対策と救急法            第7回（R4年4月17日）登山計画書のつくりかた</p> <p>2 実技（期日、登山先）            第8回（R4年5月15日）真昼岳            第9回（R4年6月5日）風鞍、南風鞍            第10回（R4年7月3日）薬師岳            第11回（R4年8月7日）秋田駒ヶ岳←悪天候により中止            第12回（R4年9月11日）大甲            第13回（R4年10月2日）秋田駒ヶ岳・乳頭山（縦走）</p> <p>令和元年度（H30年10月～R1年10月） 申込人数31人 延べ受講人数216人 年12回            令和2年度（R 1年10月～R2年10月） 申込人数36名 延べ受講人数238人 年12回（うち1回は中止）            令和3年度（R 2年10月～R3年10月） 申込人数30名 延べ受講人数222人 年13回            令和4年度（R 3年10月～R4年10月） 申込人数31名 延べ受講人数239人 年13回（うち1回は中止）</p>					
<b>自己評価</b>	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <span style="float: right;"><input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した</span> <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <span style="float: right;"><input type="checkbox"/> 達成できなかった</span>					
	<p>・登山では、体力維持と増強が必要であることから、日常生活でも食事や運動に気を付けることにより、健康づくりの推進が図られている。</p> <p>・登山技術や用具、気象や地形などの登山の基礎をしっかりと学ぶことにより、より楽しく安全に登山をすることが出来ている。</p> <p>・実技では、大仙市太田地域と美郷町にまたがる「真木真昼県立自然公園」への登山を中心に実施。地元の素晴らしい自然にふれることにより、健康づくりと地域資源の理解を深めることにつながっている。</p>					
<b>課題等</b>	<p>登山（実技）については、職員の配属状況によっては、体力的な面から同行することが難しい場合があるため、公民館事業として継続できるか課題である。</p> <p>将来的には、登山入門教室（仮）として、座学と実技（低山を中心）を継続。本格的な登山については、本教室を卒業された方々で「山岳サークル等」を設立してもらい、実践的な山登り（中級者以上向け）が出来るよう支援していきたい。</p>					



<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・公民館事業の中でも特に専門性が高く、その内容も質の高いものだと思う。          ・教室の期間が長期にわたるが、知識・技術を身につけた修了者が、指導者や案内人になっていく仕組みを確立することで、地元の観光資源である真木真昼公園の魅力を広く伝える人材育成にもつながる事業としての可能性を感じる。          ・登山ツアーの企画会社や山岳ガイド団体とのタイアップなどにより、将来は公民館事業から独立して実施継続できる事業ではないだろうか。</p> <p>◆本市の東に連なる千メートル前後の山々は、季節ごとに姿や色を変え、市民の心を楽しませてくれます。また、冬には大台スキー場において眼下に広がる大仙の地を眺め、その姿に感嘆する人々も少なくないと思われます。そうした魅力を実体験として感じることができる最初の一步を後押ししてくれるのが本事業だと思います。山の魅力を感じることに限らず、健康増進のためにも登ってみたいと思っている市民は少なくないようです。そうしたことから本事業の意義は大きいと思います。しかもその計画が素晴らしく、基本的な知識習得から始まり、実践へとつなげていきます。知識があるから楽しみも増すでしょうし、安全面から考えてもとても大切なことだと思います。山登りは、山の難易度やコース選択により、体力や目的に応じた実践が可能です。このことから、生涯スポーツの一翼を担うものとも言えます。ぜひ本事業が、本市の生涯スポーツの下支えとなりますよう期待します。</p>
--------------------------------	--



外部評価

有識者の  
意見・評価

●・新型コロナの影響で制限はあったものの、大仙読書の日の各図書館のイベント企画は努力の跡が見られる。

・過去の事業評価ではPR強化が課題として挙げられていたが、SNSなどを活用した情報発信により、市民の図書館利用に結び付けていただきたい。

・小中学校との連携による読書活動の普及は定着しているようだが、一般の方への普及については、読書通帳の活用による普及啓発の方策も検討してみたらどうか。

◆「だいせん読書の日」については、小中学校においてはほぼ周知されており、各校で個別の施策を行い、読書習慣の励行にむけて取り組んでいます。しかし、それが市民全般となるとかなり難しいと言わざるをえません。小学生に限って言えば、読書する子としない子の2極化が進んでいますが、30年前と比べて読書環境はいいほうに大きく変化しています。読書に馴染む児童が増えている様子も見られます。これも、図書館主体のこうした事業の効果が表れている結果とも言えると思います。どうか、事業に参加する人数の増減に一喜一憂することなく、課題等に掲げられている事項等も十分に検討しながら読書活動推進を行ってほしいと思います。

読書習慣広がり・深まりのカギは、「年少児」「年少児をもつ保護者」「年少児を孫にもつ祖母」をいかに取り込むかだと思います。ぜひイベント等の開催時にはこうした方々に的を絞って取り組んではどうでしょうか。



<p>外部評価 有識者の 意見・評価</p>	<p>●・音楽を聴く、楽しむということはもちろん、「みんなでつくる音楽祭のコンセプト」で特色ある音楽祭として定着しつつある事業だと思う。楽器クリニック、0歳からのコンサート、企画公演などは魅力ある内容であり、実施のための労力は大変だと思うが、実行委員会の柔軟な発想で、独自色を出した大仙市の音楽祭として継続していただきたい。</p> <p>◆事業費が三百万円近い額であり、こうした事業にどの程度の予算が見合うのかは分かりませんが、自己評価から推測すると十分に満足できる事業であったことに、深く感謝申し上げます。事業名も事業費も大きいため、実施主体の方々にとっては苦労も多かったのではないのでしょうか。お疲れさまでした。参加した市民の多くが、音楽を通して十分に楽しむことができたものと思います。</p> <p>本市では、すべての小中学校で儀式（入学式、卒業式）の際に「大仙市民の歌」を斉唱していることから、全小中生が歌うことができます。これが継続されてきましたので、おおよそ25歳前後までの市民は歌うことができるでしょう。こうした取組は、本事業の目的にある「まちづくり」「ひとづくり」「きずなづくり」とつながりがあるような気がします。すなわち、身近な音楽が事業の目的に合致する場合もあります。例えば、すべての小中生が自校への誇りをもって歌っている校歌。すべての小中学校（参加者は一部分の児童生徒）が一堂に会してその披露を行うことはどうでしょうか。時々（例えば3年毎）はそうした取組もよいのではないかと思います。もちろん、伴奏は各校のやり方に任せることとして。</p>
--------------------------------	--

## 外部評価委員の総評

### ■ 逸見博幸（社会福祉法人大空大仙事務局長）

昨年に引き続き教育委員会の事務事業について評価をさせていただくことになった。令和4年度の実施事業のうち15の事業について説明を受けたが、コロナ禍で様々な制約がある中であっても、教育委員会事務局及び関係する各課、各機関職員の皆さんが、工夫を重ねながら、限られた予算の中で市民や児童生徒のための学習の場の充実を目指して日々取り組まれていることを強く感じ、その努力には心から敬意を表したい。

大仙市の学校教育については「大仙市教育メソッド」に基づき、各校が共通認識を持って地域との連携も図りながら着実に実践されていると思います。

中でも「大仙グローバルジュニア育成事業」は人材育成につながる事業としての可能性を感じるものです。生涯学習課や地域事業との連携も図りながら、子ども達が在学中のみならず、卒業後も継続して活躍できるような社会参加の機会作りを是非お願いしたい。

児童生徒数減少への対応、安全な教育施設環境の維持、ICT化の推進や、部活動の地域移行も含めた教職員の働き方改革などは一朝一夕でできるものではありませんが、今回説明を受けた事業については、自己評価により解決すべき課題についてもある程度明確にされていることから、着実に事業を進めていただくようお願いします。

ここ数年の事業評価で、特に高齢者を対象とした趣味や教養の講座開催について検討を要する時期に来ているのではないかとの意見も出されていたが、各公民館が低予算の中で実施方法の改善や、内容の工夫などに取り組んでいることが感じられました。また、コロナ禍での制約はあったものの、学習発表の場としての事業や、世代や地域を超えて参加できる事業など、これまでの実施形態にとらわれない発想でリメイクし企画実施されたものもあり、今後の事業展開が楽しみな事業も見られた。

新規事業である「大仙アカデミー」は、生涯学習計画の施策の一つとして掲げられている「学習成果を生かした地域貢献」に合致した事業だと思います。講師の人選や講演のテーマ次第では若い人たちも取り込むことで、次世代の人材を育成する事業に発展する可能性が感じられ今後の展開が楽しみな事業だと思います。

「教育とは何か？」いろいろな人がいろいろな定義をしていますが、その一つに「教

育とは他者に対して意図的な働きかけを行うことによって、その人を望ましい方向へ変化させるもの」という考え方があります。教育委員会の使命はまさに意図的な働きかけにより大仙市の教育目標である「生きる力を育み、社会を支える想像力あふれる人づくり」の実現を目指すことだと思います。

少子高齢化の進行、家族形態・地域コミュニティの変容、高度情報化の加速による仮想現実社会や情報過多時代への適応、グローバル化、温暖化など地球環境問題の深刻化や戦争など、私たちを取り巻く社会環境は猛烈なスピードで変化を遂げていますが、常にこのような社会の変化を感じ取るアンテナを張り巡らせ、課題に対応しながら大仙市の教育事業に取り組んでいただきたいものです。

今後も大仙市発展の礎となる「社会を支える想像力あふれる人づくり」のために職員の皆さんの一層の活躍を期待します。

■ 菅 原 潔 (学識経験者・元小学校長)

日々、児童生徒の望ましい育みと市民の生涯学習にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。また、ここ3年間余りは、感染症の広がりによる行動制限のため、事業等の施策の実施にも大きな影響がありました。その度に、このような状況下においてもできることは何かを考えてくださっていたことと思います。以下、行政には全くの無知な私ですが、手短に感想を述べさせていただきます。

- ・ 少子高齢化、人口の減少により、地域の教育力は低下の方向に向かうものと感じています。人と人のつながり、地域と人とのまじわり、地域と地域のかかわりが希薄になり、かつての地域ユニットの単位ではものごとの活動ができない状況にあるのです。こうしたことを踏まえ、5年後、10年後の見通しをもって事業を進めていくことがとても大事になっていくと思います。
- ・ 人口減少に比例して、市の財政や職員の縮減は進んでいくものと思います。にもかかわらず、行政サービスの質を落とすわけにはいきません。教育委員会事務局の事業の多くは、単に箱モノを作って終わり、市民の生活状況を把握し見守って終わり、というわけにはいきません。教育の難しさがそこにあると思います。市民が施策の事業にかかわるかどうかは、個々の市民に任されているのです。どうか市民にとって魅力ある事業を立案され、積極的に事業にかかわろうとするきっかけづくりをお願いします。
- ・ これまでの踏襲ではない、新しい試みを加えて実施している事業がたくさんありました。県の事業を活用したり、地域の諸団体と連携したりと、単独ではない事業も見られました。今後はこうした取組が主流になっていくと思われまます。どうか、近隣公民館との連携もお願いします。また、園や小中学校との連携もいっそう進めてほしいと思います。
- ・ マンパワー不足を補う方法として、高齢者の活用を考えてみてはどうでしょうか。65歳以上の方々は、まだまだ元気な方がいっぱいいます。活用の場合は、募集の形のみではなく、直接連絡をとって協力伺いをしてほしいと思います。きっと喜んでかかわってくださる市民が多いと思います。(声をかけられることを待っている方がきつといます)



- ・ 高校生までの市民は、生まれた時から大仙市民です。旧市町村の感覚はあまりありません。あるとすれば、それは中学校区等の枠組みのなかで生まれた感覚です。こうした現状を踏まえ、各地域毎に行われる事業はこれまでと同様に大切にしながらも、その枠組みを取り払って行う大仙市一体の取組も進めてほしいと思います。仙北地域の施設はそれを可能にしてくれるものと大きな期待をもっています。
- ・ 捨てちゃもんじゃない大仙市を今更に強く感じました。市民でありながら、市内には知らないこと、魅力的なものごとがいっぱいなのです。新しいもの、豊かなものを求めることが常になりがちですが、市政20周年を目前にし、もう一度地域からスタートし、地域を見つめなおす機会となる事業もよろしいかと思えます。

最後に、明るく元気な大仙市づくりの一端を担う教育委員会事務局の皆様が健康に留意され、引き続きご活躍されることを願っています。